

マンホールポンプ設備改築（停電・浸水対策）工事

特 記 仕 様 書

令和 8 年 7 月

宝達志水町地域整備課

***** 目 次 *****

第 1 章 総 則	-----	1
第 2 章 電 気 設 備	-----	3
第 3 章 据 付 工 事	-----	7

第 1 章 総 則

1. 工事概要

本工事は、マンホールポンプ施設の電気設備工事として、災害停電時に可搬型蓄電池または電動車両を電源供給源として水中汚水ポンプを稼働させることのできるシステム（浸水起動支援システム：特許第 7185801 号，発明の名称：マンホールポンプシステム、可搬式電力制御装置）を導入するものである。

2. 適用範囲

本仕様書は、石川県宝達志水町における浸水時ポンプ起動支援システムの電気設備並びに付帯設備の製作及び据付を行い、試運転調整・引渡しに至る一切について適用するものとする。

3. 施工場所

石川県 羽咋郡 宝達志水町 今浜新 地係	(中橋汚水中継ポンプ)
石川県 羽咋郡 宝達志水町 免田 地係	(北川尻大橋汚水中継ポンプ)
石川県 羽咋郡 宝達志水町 小川 地係	(小川第 1 汚水中継ポンプ)

4. 一般事項

(1) 本仕様書に特に定めていない事項については、監督員との打ち合わせによるものとする。

(2) 受注者は、工事施工にあたり諸法規を遵守しなければならない。

- 1) 労働基準法
- 2) 労働安全衛生法
- 3) 建設業法
- 4) 公害対策基本法
- 5) 水質汚濁防止法
- 6) 大気汚染防止法
- 7) 悪臭防止法
- 8) 下水道法
- 9) 電気事業法
- 10) 道路交通法
- 11) 騒音規制法
- 12) その他関係法令，条例

(3) 受注者は、工事施工にあたり諸規格に準拠しなければならない。

- 1) 日本産業規格（JIS）
- 2) 日本電機工業会標準規格（JEM）

3) 日本電気規格調査会標準規格 (JEC)

4) その他関連の規格

(4) 工事施工に必要な関係官公庁、その他の者に対する諸手続きは、監督員の承諾を得て、受注者において迅速に処理するものとする。

5. 納品図書

(1) 納品図書は、製作仕様書、外形図、構造図、据付図、電気結線図、およびその他必要な図面から構成され、各 2 部 (返却用 1 部含む) を提出する。

(2) 納品図書に訂正があれば、その部分を明示した訂正納品図書を前記要領で再提出するものとする。

6. 検査

制御盤は、製作工場において、耐圧試験、動作試験を行うものとする。

7. 材料保管

工事竣工まで機器、材料の保管の責任は受注者にあるものとする。

8. 材料保管

(1) 機器の保証期間は、規定による引き渡しを受けた日から 1 ヶ年とする。

(2) 保証期間内に明らかに受注者の設計、製作、施工の不備に起因する故障が生じた場合は、受注者の責任において直ちに修理または取り替えをしなければならない。

第2章 電 気 設 備

1. 盤共通事項

(1) 制御盤概要

- 1) 盤の主要構造材料は、収納機器の重量、作動による衝撃等に十分耐える強度を有するものとする。
- 2) ドアには鍵を設ける。
- 3) 防雨性を有し、雨水のたまらない構造とする。
- 4) 盤類の形状および寸法は、設計図を参照し、納品図書において決定するものとする。
- 5) 可搬型蓄電池および外部給電器を繋いだ電動車両からの電力を供給するための非常用電源専用コネクター接続口を設ける。

(2) 主 回 路

- 1) 一次側電源電圧は1φ2W 交流 200V とする。
- 2) 主回路にもちいる母線および接続導体は銅を使用し、規定の条件のもと定格電流および定格短時間電流を流しても十分にこれに耐えるものとする。
絶縁電線をもちいる場合は、原則として 600V 耐燃性ポリエチレン絶縁電線 IE (JIS C 3612) または、600V 電気機器用耐燃性ポリエチレン絶縁電線 KIE (JIS C 3612, JIS C 3316) を使用するか、または同等品以上とする。

(3) 制御回路

- 1) 制御電源は主回路より分岐する。
- 2) 制御回路にもちいる電線は、原則として 600V 耐燃性ポリエチレン絶縁電線 IE (JIS C 3612) または、600V 電気機器用耐燃性ポリエチレン絶縁電線 KIE (JIS C 3612, JIS C 3316) に規定されたもので、断面積が 1.25mm^2 以上を使用し、かつ可動部は十分可とう性があるものとする。ただし、電流容量、電圧降下等に支障がなく保護協調がとれれば細い電線を使用してもよいものとする。
- 3) 電線被覆の色別は、JEM 1122 により下記の色別を行うものとする。

制	御	回	路	黄色
接	地	回	路	緑色

2. 可搬型制御盤

- | | |
|-------------------|--|
| (1)数 量 | 3 面 (2.2kW 用・5.5kW 用) |
| (2)形 式 | 鋼板製屋外可搬型 |
| (3)容 量 | 2.2kW 用 (0.4～2.2kW まで) × 1 面
5.5kW 用 (3.7～5.5kW まで) × 2 面 |
| (4)塗 装 | メラミン焼付 (全ツヤ) |
| (5)寸 法 | 設計図書を参照し、納品図書において決定するものとする。 |
| (6)器 具 類 (1 面あたり) | |

- | | |
|-----------------------|-----|
| 1)漏電遮断器 | 1 式 |
| 2)サーキットプロテクタ | 1 式 |
| 3)水位検出ユニット | 1 式 |
| 4)補助継電器 | 1 式 |
| 5)タイマー | 1 式 |
| 6)盤内ファン | 1 式 |
| 7)塩害フィルター (必要な場合) | 1 式 |
| 8)切替開閉器 | 1 式 |
| 9)押釦スイッチ | 1 式 |
| 10)端子台および内部配線 | 1 式 |
| 11)非常用電源専用コネクター接続口 | 1 式 |
| 12)インバータ装置 (関連機器含む) | 1 式 |
| 13)コンバータ (5.5kW 用の場合) | 1 式 |
| 14)可変速スイッチ | 1 式 |
| 15)扉開閉ハンドル (鍵付) | 1 式 |
| 16)その他必要なもの | 1 式 |

(7)付属品 (1 面あたり)

- | | |
|---------------------------|-----|
| 1) 電源接続ケーブル (可搬型蓄電池用、10m) | 1 組 |
|---------------------------|-----|

(8)その他特記事項

可搬型制御盤は、キャスター、取手により可搬可能な構造とする。

本装置は下記の特許に基づく

特許第 7185801 号

発明の名称：マンホールポンプシステム、可搬式電力制御装置

3. 受電口 (電源切替盤)

- | | |
|--------|-----------------------------|
| (1)数 量 | 3 面 |
| (2)形 式 | ステンレス製装柱型 |
| (3)塗 装 | ポリエステル粉体塗装 (半ツヤ) |
| (4)寸 法 | 設計図書を参照し、納品図書において決定するものとする。 |

(5) 器具類（1面あたり）

1) 電源切替器	1 式
2) 非常用電源専用コネクター接続口	1 式
3) 端子台および内部配線	1 式
4) 扉開閉ハンドル（鍵付）	1 式
5) その他必要なもの	1 式

(6) その他特記事項

本装置は下記の特許に基づく

特許第 7185801 号

発明の名称：マンホールポンプシステム、可搬式電力制御装置

4. 可搬型蓄電池

(1) 数 量	2 組（2 台 1 組，出力 6kW タイプ/1 台当り 3kW）
(2) 形 式	可搬式蓄電池
(3) 容 量	10kWh
(4) 定格電圧	200V
(5) 定格電流	30A
(6) 放電深度	90%
(7) インバータ効率	90%
(8) 付属品（1 組あたり）	
1) 接続タップ	1 個

(9) その他特記事項

可搬型蓄電池は 2 台を連結して使用し、電気を取り出すものとする。

5. 外部給電器

(1) 数 量	1 台
(2) 形 式	可搬型外部給電器
(3) 塗 装	ポリエステル粉体塗装（半ツヤ）
(4) 概略寸法	巾 387mm×高さ 438mm×奥行 755mm
(5) 定格出力	6kVA
(6) 定格出力電圧	AC100・200V（単相 3 線式）
(7) 周波数	50Hz・60Hz（切替え式）
(8) 電力変換方式	インバーター方式
(9) 出力端子	100V×4 口、200V×1 口
(10) 付属品	
1) 給電ケーブル（2.1m、給電コネクタ付）	1 組

6. 電動車両

- | | |
|-------------------|---|
| (1)数 量 | 1 台 |
| (2)形 式 | 三菱・5LA-GNOW (PHEV 車) |
| (3)類 別 | XDSHZ M (ボディカラー ブラックマイカ) |
| (4)概略寸法 | 巾 1860mm×高さ 1745mm×奥行 4720mm |
| (5)駆動方式 | 4WD |
| (6)乗車定員 | 5 名 |
| (7)使用燃料 | 無鉛レギュラーガソリン |
| (8)総排気量 | 2.359L |
| (9) エンジン | 最高出力 98kW |
| (10)モーター | 定格出力 40kW (前輪)、40kW (後輪)
最高出力 85kW (前輪)、100kW (後輪) |
| (11) 駆動用バッテリー | |
| 1)種類 | リチウムイオン電池 |
| 2)総電圧 | 355V |
| 3)総電力量 | 22.7kWh |
| (12) 付属品 | |
| 1) リフト付き台車 | 1 台 |
| 2) ドライブレコーダー (前後) | 1 式 |
| 3) ラゲッジトレイ | 1 枚 |
| 4) エクシードバイザー | 1 式 |
| 5) オールウェザーマット | 1 式 |

第3章 据付工事

1. 据付工事概要

- (1) 本工事の施工にあたっては、監督員の指示に従い、本仕様書及び設計図書に基づき、関係法令、規定、基準に準拠し、責任をもって施工しなければならない。さらに作業の安全及び通行人等第三者への災害防止等についても十分に配慮し、安全対策を講じなければならない。
- (2) 機器の搬入、据付の際は、機器本体、構造物に対して損傷を与えることのないように注意すること。
- (3) 機器の据付の詳細については、施工図を提出のうえ、監督員の指示を受けること。

2. 電気設備工事

(1) 盤の据付

- 1) 自立形（スタンド形、ポール形を含む）盤は水平に据付くように調整のうえ、アンカーボルトで基礎ベース上に堅ろうに固定すること。
- 2) 装柱形及び壁掛形盤は所定の金具で柱及び壁に強固に取付けのこと。

(2) 電線管工事

- 1) 電線管は施工場所により、次の管を使用すること。

- | | |
|----------|---|
| (A) 露出配管 | 鋼製電線管
ケーブル保護用合成樹脂被覆鋼管
硬質ビニル電線管 |
| (B) 地中配管 | 波付硬質合成樹脂管
ケーブル保護用合成樹脂被覆鋼管
合成樹脂製可とう電線管
硬質ビニル電線管 |
| (C) 接地線用 | 硬質ビニル電線管（露出、地中とも） |

- 2) 地中電線管部については、ケーブル埋設シートを敷設のこと。

(3) 配線工事

- 1) 配線は使用目的により次の電線またはケーブルを使用すること。

- | | |
|----------|---|
| (A) 電源回路 | 600V 架橋ポリエチレン絶縁耐熱ポリエチレンシースケーブル（CE/F）
ビニルキャブタイヤケーブル（VCT）
2種 EP ゴム絶縁クロロプレンゴムキャブタイヤケーブル（2PNCT） |
| (B) 制御回路 | 制御用ポリエチレン絶縁耐熱性ポリエチレンシースケーブル（CEE/F）
ビニルキャブタイヤケーブル（VCT） |
| (C) 接地回路 | 600V 耐熱性ポリエチレン絶縁電線（IE/F） |

石川県土木工事特記仕様書〔共通編〕

当該工事の対象は、○印の項目とする。

令和8年4月1日適用

対象

- 1 検査指定材料 (約款第13条第2項)
- 2 見本資料指定材料 ~~—(共通仕様書第2編第1章第2節第4項)—~~
- 3 資料指定工種 ~~—(共通仕様書3-1-1-3第2項)—~~
- 4 段階確認指定工種 (共通仕様書3-1-1-3第6項)
- 5 立会い指定材料及び工種 ~~—(約款第14条第1項及び2項)—~~
- 6 中間検査 ~~—(共通仕様書1-1-1-24第8項)—~~
- 7 安全管理
- 8 施工条件明示
- 9 再生資源(利用及び利用促進)計画書及び実績表 ~~—(共通仕様書1-1-1-20)—~~
- 10 使用機械
- 11 廃棄物処理及び清掃に関する法律による管理表(マニフェスト)制度 ~~—(共通仕様書1-1-1-20第2項)—~~
- 12 コンクリート構造物の品質確保
- 13 電子納品・情報共有システムの対象
- 14 工事における創意工夫等の実施状況や総合評価方式における技術提案の履行状況
- 15 建設リサイクル法の対象
- 16 自主施工工事の対象
- 17 ~~ＩＣＴ施工工事の対象~~
- 18 いしかわ週休２日工事の対象 発注方式：【発注者指定型（現場閉所）】
- 19 余裕期間制度（フレックス方式）試行工事の対象
- 20 ウィークリースタンス等の推進
- 21 その他
- 22 「地域外からの労働者確保に要する間接費の設計変更」および、
「遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更」の対象工事
※運用基準は県のHP「<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/gijyutsu/kijyun.html>」を参照
- 23 災害復旧工事における現場環境改善資及び快適トイレの対象
※運用基準は県のHP「https://www.pref.ishikawa.lg.jp/gijyutsu/s7/zenbakankkyoukaizen_saigai.html」を参照

・本工事は、本特記仕様書〔共通編〕および「石川県土木工事共通仕様書」により施工すること。
・作成する書類については、発注者より特別な指示のない限り「石川県土木工事様式」及び「石川県土木工事施工管理基準」に基づき作成すること。

1 検 査 指 定 材 料 (約款第13条第2項)

区 分	印	材 料 検 査 の 対 象 と な る も の
1. 不可視部分の材料		(1) 基 礎 工 (木杭、鋼杭、プレキャストコンクリート杭)
		(2) 矢 板 類 (木矢板、鋼矢板、コンクリート矢板、PC矢板)
		(3) 胴 木 類 (胴木、鉄筋コンクリート胴木)
		(4) 管 類 (鋼管、コルゲートパイプ、鉄筋コンクリート管、 鋳鉄管、合成樹脂製管類、消雪パイプ)
		(5) 暗 渠 類 (プレキャストボックス)
		(6) 鉄 筋 類 (普通丸鋼、異形棒鋼)
		(7) 目 地 類 (止水板、目地板、タイバー、スリップバー、 チェアクロスバー)
		(8) 形 鋼 類 (トンネルの支保工材、基礎杭の補強材)
		(9) 網 類 (法面吹付等及び舗装用金網)
		(10) シート類 (河川海岸用の吸出し防止材、路盤紙)
		(11) アンカー類 (アンカーボルト、ロックボルト、タイロッド、 アンカーケーブル、定着材料)
		(12) マンホール類 (人孔用斜壁及び直壁)
		(13) 土壌改良材 (タンカル等の他肥料を含む)
		(14) 地盤改良材 (セメント系等)
		(15) 基盤材・種子類 (法面緑化)
2. 重要構造物の材料		(1) 橋 梁 類 (鋼橋及びP C 橋の材料)
		(2) 落石及び 防雪柵類 (落石防止柵、スノーシェッド、なだれ防止柵、 スノーシェルター)
		(3) 水 門 類 (ゲートの材料)
		(4) ポンプ及び原動機類
	○	(5) 電気設備機器類 (制御盤、蓄電池等)
3. その他の材料	○	特に監督員が必要と認めるもの。

(注) 指定材料は、○印とする。

4 段階確認指定工種（共通仕様書3-1-1-3第6項）

水道・下水道・その他編

印	工 種・個 所	項 目	確 認 時 期	摘 要
○	工事測量	位 置	設 定 時	仮 B・M、中心線等、入孔芯等
	支障物件移設	〃	着手前、埋戻前	地下埋設物等
	ウエルポイント工	〃	設 置 前	布設位置、排水設備、観測井
	基礎杭、鋼矢板、土留	出 来 形	打止め完了時	
	床 掘	〃	完 了 時	床掘底面高
	基 礎 工	〃	〃	基準高
	管渠築造工	〃	埋 戻 前	基準高、接合
	鉄 筋	〃	組立て完了時	
	入孔築造工	〃	埋 戻 前	
	薬液注入工	止水状況	完 了 時	止水効果
	推進掘進工	位 置	掘 進 前	方向、中心線、勾配等
	滑材裏込注入工	注 入 量	完 了 時	空袋検査
	シールド掘進工	位 置	掘 進 前	方向、中心線、勾配等
	シールド一時覆工	出 来 形	完 了 時	基準高、蛇行
	シールド二時覆工	〃	〃	基準高、覆工厚

（注）確認対象工種は○印とする。なお、確認頻度の多い場合は、監督員と協議すること。

7 安全管理

- 1 受注者は、安全管理のための自主点検を実施するものとする。
- 2 自主点検の結果は点検書に記載し、保管するものとする。
- 3 受注者は、土石流の到達する恐れのある指定現場において、土石流に対する安全対策として監視員 1 名を設置し、流域状況の点検及び記録整理を実施するものとする。

4 安全訓練等の実施

本工事の施工に際し、現場に則した安全訓練等について、工事着手後原則として作業員全員の参加により、月当たり半日以上の時間を割当て下記の項目から実施内容を選択し、安全訓練を実施するものとする。

- (1) 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
- (2) この工事内容等の周知徹底
- (3) 工事安全に関する法令、通達、指針等の周知徹底
- (4) この工事における災害対策訓練
- (5) この工事現場で予想される事故対策
- (6) その他、安全訓練等として必要な事項

また、土石流の到達する恐れのある指定現場については、関係作業員に対して工事着手後遅滞なく 1 回、及びその後 6 ヶ月に 1 回の避難訓練を実施するものとする。

5 安全訓練等に関する施工計画書の作成

施工に先立ち作成する施工計画書に、この工事の内容に応じた安全・訓練等の具体的な計画を作成し、監督員に提出するものとする。

6 安全訓練等及び土石流監視報告書の実施状況報告

安全訓練等及び土石流監視の実施状況報告をビデオ等、または実施状況報告書に記録し、報告するものとする。

7 安全のための適切な臨機の措置

- (1) 気象状況等に関して常時十分な注意を払うこと。
- (2) 作業時に危険を予知した場合等においては、ただちに作業を中止し作業員を安全な場所に退避させること。
- (3) 異常箇所の点検・原因の調査等は、二次災害防止のための応急措置を行った後、十分注意して行うこと。

8 施 工 条 件 明 示

下記明示項目、事項のうち○印該当欄は、工事施工にあたって制約等を受けること
ので留意すること。

明 示 項 目	明 示 事 項	制 約 条 件 等
I 工 程 該 当 ×	1 関連する別途発注工事あり ア 工 事 名 : () イ 入 札 予 定 : () ウ 制 約 工 種 : () エ 施 工 可 能 工 種 : () オ そ の 他 : ()	
	2 他機関協議による工程条件あり ア 工 種 : () イ 期 間 : (年 月 ~ 年 月) ウ 協 議 機 関 名 : () エ 協 議 内 容 : ()	
	3 その他条件 ()	
II 用 地 該 当 ×	1 補償物件撤去まで着工制限あり 対象物件 : 建 物 () 撤去予定 (年 月) : 工 作 物 () 撤去予定 (年 月) : 立 木 () 伐採予定 (年 月) : そ の 他 () 撤去予定 (年 月)	ア 着工予定 (年 月) イ 区 間 (No. ~ No.)
	2 その他条件 ()	
III 公害対策 該 当 ×	1 施工法の制限あり (条件及び位置については別紙及び位置図参照) ア 騒音 イ 振動 ウ 水質 エ 大気 オ その他 () 必要対策 : 工 場 () 井戸等 () : 学 校 () その他 () : 病 院 ()	
	2 その他条件 ()	
IV 安全対策 該 当 ×	1 鉄道等の近接作業制限あり	ア 工法制限あり イ 作業時間制限あり ウ 列車見張員 (配置人員: 1 日 名、延べ 名)
	2 発破作業制限あり 対策対象物 ()	ア 防護工指定あり イ 作業時間制限あり
	3 交通誘導員 配置人員	交通誘導警備員A: 1 日 名、延べ 名 交通誘導警備員B: 1 日 名、延べ 名
	※上記交通誘導警備員Aについては、石川県公安委員会が道路における危険を防止するため 交通誘導警備が必要と認める区間の工事で、交通誘導警備業務を警備会社に委託する場合 の交通誘導検定警備員である。	
	4 土石流発生のおそれがある 渓流あり	ア 監視体制の強化が必要 イ その他 ()
	5 夜間作業あり ()	
	6 その他条件 ()	

明 示 項 目	明 示 事 項	制 約 条 件 等
V 工事用道路 該 当 ○	1 一般道路（搬入路）の使用制限あり	ア 搬入経路指定あり イ 時間帯制限あり
	2 一般道路の占有可能	ア 全面占有可 イ 片側占有可 ウ 時間制限あり
	3 仮設道路の設置条件あり 標識等の配置位置図等は 共通仕様書1-1-1-34による。	ア 一般交通供用あり イ 安全施設必要 ウ 路面工（工種 簡易舗装（標準横断面図）を参照） エ 工事完了後存続 W= m（最低総幅員）
	4 その他条件（	）
VI 仮 設 備 該 当 ×	1 仮設構造物の転用（	）
	2 仮設構造物の兼用（	）
	3 その他条件（	）
VII 建設発生土、 補足土、 産業廃棄物 等 該 当 ×	受注者は、下記によらず施工する場合は、監督員と協議すること。	
	1 建設発生土	ア 名 称（ イ 所在地（ ウ 引渡し条件（
	2 補足土	ア 名 称（ イ 所在地（ ウ 引渡し条件（
	3 産業廃棄物	ア コンクリート塊（処分施設： イ アスファルト塊（処分施設： ウ 木くず（処分施設： エ その他（処分施設：
	4 その他条件（	）
VIII 工事支障物件 該 当 ×	受注者は、共通仕様書1-1-1-28に基づき、現場着手時に地下埋設物等の事前調査を行うこと	
	1 占有支障物件	
	ア 電気（電柱、支線、架空線）	移転日（ 月 日 ）
	イ 電話（地下、電柱、架空線）	移転日（ 月 日 ）
ウ 水道（本管、給水管）	移転日（ 月 日 ）	
エ ガス（本管、引込管）	移転日（ 月 日 ）	
オ その他（	） 移転日（ 月 日 ）	
2 その他条件（	）	

明 示 項 目	明 示 事 項	制 約 条 件 等
IX 現場環境改善 (4内容) ・率計上分 該 当 ✕ ・積上分	1 仮設備関係 2 安全関係 3 営繕関係 4 地域とのコミュニケーション ①個別積上 内容： ②避暑・防寒対策費（精算時の設計変更対象で積上） 主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費 用（エアコン、冷水機、冷蔵庫、製氷機、送風機、日よけテントなど）については、対策の妥当性を 確認の上、設計変更となる。 現場管理費に計上される作業員個人の費用と重複がないことを確認し、率分で計上される現場環境改 善費の100%を上限とする。	ア 昇降設備の充実 イ 環境対策の充実 ウ ICT設備の充実 エ 作業負荷の低減 ア 工事標識・照明等安全施設の充実 イ 盗難防止対策（警報機等） ウ 健康関連施設の充実 エ 野生生物・害虫対策 ア 現場事務所の快適化 イ 労働者宿舍の快適化 ウ 現場休憩所の快適化（交通誘導警備員待機室） エ 衛生設備・厚生施設の充実 ア 広報活動等（完成予想図、パンフレット、工法説明、PR看板 等） イ 見学会・イベント等の開催（見学施設等設置・管理運営費 含む） 社会貢献、地域貢献費（地域行事等への参加費など） 費用：
X 快適トイレ 該 当 ✕	「快適トイレ実施要領」に基づき実施すること。 実施内容および実施した場合の変更については、上記要領を参照すること。 1 快適トイレを原則設置すること 2 契約後、監督員へ提案・協議し、快適トイレを設置することができる。	
X I 熱中症補正 該 当 ○	「熱中症対策に資する現場管理費の補正の要領」に基づき、熱中症対策に係る現場管理費の補正※を希 望する場合は、監督員と協議すること。 ※主に作業員個人に対する熱中症対策 （塩飴、経口保水液等の飲料水、冷却用品、空調服、熱中症対策キットなど）	
X II 遠隔臨場 該 当 ✕	「建設現場における遠隔臨場に関する試行要領」に基づき、遠隔臨場を希望する場合は、監督員と協 議すること。	
明 示 項 目	明 示 事 項	制 約 条 件 等
X III その他 該 当 ○	1 現場発生材あり 2 支給材あり ③ 工事の使用材料は、石川県エコ・リサイクル認定製品を優先的に使用してください。 ④ 工事の使用材料は、石川県内で生産された材料・製品を優先的に使用すること。 県外産を使用する場合は「様式25-2 県内産品の不採用調書」を提出すること。 ⑤ 施工地域・工事場所区分 6 設計図書の照査 7 品質証明の対象工事（共通仕様書第3編3-1-1-5） ⑧ 労務補正（補正内容：4週8休 補正工種： 9 契約後VE適用 VE提案を行う場合、以下を参照のうえ、発注者と協議すること https://www.pref.ishikawa.lg.jp/gijyutsu/vekouji_toriatukaiyouryou.html 10 その他条件（	品名・納入場所（ 品名・納入場所（ ア 市街地（DID補正） イ 一般交通影響有（2車線以上かつ交通量5000台/日以上） ウ 一般交通影響有（イ以外、常時全面通行止めを含む） エ 山間僻地及び離島 土木工事設計図書の照査ガイドライン(案)に基づき実施し、 照査項目チェックリストを提出すること。 (土木一式3千万円以上、舗装・造園工事1千万円以上、その他工事1.5千万円以上))

10 使用機械

1. 本工事において、工事の施工にあたり石川県土木工事共通仕様書1-1-1-34第6項の表1-1-1に示す建設機械を使用する場合は、表1-1-1の下欄に示す建設機械を使用しなければならない。
ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。

排出ガス対策型建設機械（共通仕様書 表1-1-1）	
機 種	備 考
一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット （以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシーンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの。 油圧ハンマ、バイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引拔機、油圧式杭圧入・引拔機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機） ・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン(エンジン出力7.5kw以上260kw以下)を搭載した建設機械に限る。 ただし、道路運送車両の保安基準に排出ガス基準が定められている自動車で、有効な自動車検査証の交付を受けているものは除く。

2. 排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス対策装置を使用する場合の確認方法等
 - 1) 施工計画書への記載
施工計画書の指定機械項目に
 - ①機械名、
 - ②メーカー名、
 - ③形式名、
 - ④台数等を明記すること。

13 電子納品・情報共有システムの対象

本工事は、電子納品及び情報共有システムの対象工事である。

(電子納品について)

- 1 工事完成図書を電子データで納品する時の各種基準は、国土交通省並びに農林水産省の各種電子納品要領等及び石川県電子納品ガイドライン等で定めるファイルフォーマットに基づいて作成するものとする。
- 2 実施内容は以下のとおりとする。
 - 1) 別紙に示す工事関係書類の最終成果を、CD-RまたはDVD-R等で2部納品する。
なお、電子納品した工事関係書類については、紙で提出する必要はない。
 - 2) 別紙に記載がない項目については、監督員と協議の上、電子化の是非を決定する。
- 3 工事着手時には、石川県電子納品ガイドラインで定める「事前協議チェックシート」を用いて事前協議を行うものとする。
入手先：石川県ホームページ 電子納品
https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kanri/cals-ec/e_delivery.html
- 4 発注者が行う電子納品アンケート等の調査に協力する。
- 5 工事完成図書の納品に際し、以下の事項を事前に確認する。
 - 1) 電子納品チェックシステムによるチェックを行いエラーがないことを確認する。
入手先：電子納品チェックシステム（土木）
http://www.cals-ed.go.jp/edc_download/
※電子納品チェックシステムの最新バージョンを使用すること
 - 2) 最新のウイルス対策ソフトで、成果品にウイルスが混入していないことを確認する。
- 6 原本性を確保するため、電子媒体はCD-RまたはDVD-R等を使用することとする。

(情報共有システムについて)

- 1 情報共有システムの使用にあたっては、本県で使用する情報共有システムの機能や条件を定めた「石川県情報共有システム機能仕様書」を熟読し、「事前協議チェックシート」にて監督員と協議のうえ利用すること。
- 2 現場にインターネット環境が整っていないなど、当システムの使用が困難な場合、「事前協議チェックシート」にて監督員と協議し、その理由が適正であるときは、システムを使用しないことを認めることができる。

3 実施内容は以下のとおりとする。

- ① 受発注者間の書類の受け渡し
- ② 決裁
- ③ 承認、指示、承諾
- ④ 確認、検査 等

以上の行為を行う、または、受ける際、通常的手段（紙の書類の受け渡しや印鑑による決裁等）に代えてシステムを使用する。

4 監督員が指示するシステムの使用状況や結果に関する調査等に協力する。

5 本工事に使用するパソコンは、常に以下の状態を保たなければならない。

- 1) 最新のウイルス対策ソフトを導入する。
- 2) OS、ブラウザ及びメールソフトに最新のセキュリティパッチを適用する。
- 3) ウィニー等のファイル交換ソフトを導入しない。

完成検査時提出書類一覧（電子納品対応版）

別紙

令和7年7月版

名 称	代理人 チェック	監督員 チェック	情報共有システム使用の有無				検査時 提示のみ	フォルダー	備考	摘要
			有		無					
			電子納品	従来納品 (紙)	電子納品	従来納品 (紙)				
契約書				○		○				契約時
発注図								DRAWINGS	発注者が作成し、 受注者に渡す	
特記仕様書								DRAWING /SPEC	発注者が作成し、 受注者に渡す	
現場代理人及び主任技術者等選任届				○		○				約款第10条
工事工程表・変更工程表				○		○				締結の7日以内
施工計画書			○		○			PLAN/ORG		共通仕様書第1編1-1-1-45 請負額1千万円以上
施工体制台帳・施工体系図			○			○		MEET/ORG	下請契約書等は従来通り紙での 提出も可とする	共通仕様書第1編1-1-1-1
再生資源（利用、利用促進）計画書・実績表			○		○			MEET/ORG		共通仕様書第1編1-1-1-20
工事打合せ簿			○			○		MEET/ORG		約款第9条 共通仕様書第1編1-1-1-2
材料検査願			○			○		MEET/ORG	システムを使った場合は電子 ファイルのみ提出	約款第13条 特記で指定されている項目
材料検査願(自主施工)			○			○		MEET/ORG	システムを使った場合は電子 ファイルのみ提出	約款第13条 特記で指定されている項目
見本資料指定材料確認願			○			○		MEET/ORG	システムを使った場合は電子 ファイルのみ提出	約款第14条 特記で指定されている項目
立会確認願			○			○		MEET/ORG	システムを使った場合は電子 ファイルのみ提出	約款第14条 特記で指定されている項目
段階確認願			○			○		MEET/ORG	システムを使った場合は電子 ファイルのみ提出	共通仕様書第3編3-1-1-3 特記で指定されている項目
段階確認書(自主施工)			○			○		MEET/ORG	システムを使った場合は電子 ファイルのみ提出	共通仕様書第3編3-1-1-3 特記で指定されている項目
中間検査願				○		○			紙での提出。捺付資料を、シス テムで提出した場合は、電子納 品とする	共通仕様書第1編1-1-1-24
確認願			○			○		MEET/ORG	システムを使った場合は電子 ファイルのみ提出	約款第18条
調査結果通知書、設計図書訂正・変更通知書				○		○		MEET/ORG	発注者が作成し、 受注者に渡す	約款第18条、第19条
既済部分検査願				○		○				約款第37条 部分払いのある場合
仮設交通安全標示施設等自主点検書							○			共通仕様書第1編1-1-1-30
安全管理自主点検書							○			共通仕様書第1編1-1-1-30
安全・訓練等実施状況報告							○			共通仕様書第1編1-1-1-30
マニフェスト（総括表）			○		○		○ (E票、B2票)	MEET/ORG	総括表のみ提出 E票又はB2票は提示のみ	共通仕様書第1編1-1-1-20
品質管理表			○		○			MEET/ORG	カタログ、ミルシート等は従来 通り提出	共通仕様書第1編1-1-1-23
品質証明員通知書			○		○			MEET/ORG	作成に用いた電子ファイル	共通仕様書第3編3-1-1-5 (100,000千円以上)
品質証明書			○		○			MEET/ORG	作成に用いた電子ファイル	共通仕様書第3編3-1-1-5 (100,000千円以上)
コンクリート耐久性向上対策（自社ソフトで作成）			○		○			MEET/ORG	PDFファイルに変換して提出	特記仕様書による
〃（エクセルで作成）			○		○			MEET/ORG	エクセルファイルを提出	
出来形管理表・出来形図（自社ソフト作成）			○		○			MEET/ORG	PDFファイルに変換して提出	共通仕様書第1編1-1-1-23
〃（エクセルで作成）			○		○			MEET/ORG	エクセルファイルを提出	
コンクリート構造物の品質管理			○		○			MEET/ORG		特記仕様書による
工期延期願				○		○				共通仕様書第1編1-1-1-17
工事中写真			○		○			PHOTO/PIC	解像度は100dpi程度 枚数は写真管理基準	共通仕様書第3編3-1-1-6
完成写真			○	○	○	○		PHOTO/PIC	〃	共通仕様書第3編3-1-1-6
参考図			○		○			PHOTO/DRA	形式はJPEGまたはTIFF (G4)	
植樹保険証書				○		○				植栽直工50万円以上の場合 共通仕様書第1編1-1-1-44
建退共掛金収納書 (中小企業退職金共済制度、林業退職金共済制度は写)				○		○				締結後1ヶ月以内 100万円未満省略可
建退共掛金充当実績総括表							○			共通仕様書第1編1-1-1-44
完成図			○		○			DRAWINGF		共通仕様書第1編1-1-1-22 発注図をCADで渡した場合
完成通知書				○		○				約款第31条
請求書				○		○				約款第31条
引渡書				○		○				約款第31条
電子納品成果品CD-R等				○		○			CD等を確認	CALS/EC対象工事
照査項目チェックリスト			○			○				特記仕様書による
創意工夫実施状況			○		○					特記仕様書による
技術提案履行確認シート			○		○					特記仕様書による
交通誘導員伝票（総括表）			○		○		○ (伝票)	MEET/ORG	総括表のみ提出 伝票は提示のみ	

14 創意工夫・現場条件への対応・社会性等に関する実施状況

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や現場条件への対応に関する項目、または地域社会への貢献に関する事項について、工事完了時までに下記の様式により提出することができる。なお、総合評価方式における技術提案事項も、創意工夫等の対象となる。

工 事 名	受注者名	
項 目	内 容	備 考
☐ 創意工夫 (軽微な工夫)	☐ 施工	施工に伴う機械、器具、工具、装置類 二次製品、代替製品の利用 施工方法の工夫 施工環境の改善 仮設計画の工夫 施工管理、品質管理の工夫
	☐ 新技術登録技術	登録技術のうち「有効とされる技術」 登録技術のうち「有効とされる技術」以外 石川県新技術認定製品
	☐ 品質	工作物の品質向上に関する工夫 品質向上のための施工上の工夫
	☐ 安全衛生	安全施設・仮設備の配慮 安全教育・講習会・パトロールの工夫 作業環境の改善 交通事故防止の工夫
	☐ その他	
☐ 工事特性 (施工条件への 対応)	☐ 構造物の特性	規模が特殊な構造物 複雑な形状の構造物
	☐ 作業環境 社会条件	地盤変形、近隣構造物、地下埋設物への影響 作業条件、工程等への影響 騒音・振動・水質汚濁等環境対策 作業スペース制約・現道上の交通規制 緊急時の対応 広範囲にわたる施工箇所
	☐ 自然・地盤条件	湧水、地下水の影響 軟弱地盤、支持地盤の状況 気象条件の影響 地すべり、急流河川、潮流等、動植物等
	☐ その他	
☐ 社会性等 地域社会や住民に 対する貢献	☐ 地域への貢献等	周辺環境への配慮 現場環境の地域への調和 地域住民とのコミュニケーション 災害時の支援、協力 ボランティアの実施

注 創意工夫等、該当する項目の□にレマークを記入し、写真・参考図等により
実施内容の詳細を任意様式（技術提案の説明資料や写真帳など）で提出すること。

14. 総合評価方式における技術提案の履行状況

判定	履行	不履行有
----	----	------

技 術 提 案 履 行 確 認 シ ー ト	
工 事 名	△△
受 注 者 名	□□
現 場 代 理 人	☆☆
主 任・監 理 技 術 者	☆☆
監 督 員	石川太郎

	項 目	番号	具体的な 技術提案の内容	施工計 画書へ の記載	履行状況の確認方法			履行の 確認者	履行の 確認日	履行 確認	備考
					確認方法	受注者と監督 員との協議日	監督員と工事管 理担当職員等と の協議日				
技術提案	(参考)記入例	1①	▲▲による■■■	○	●●●	H29.1.1	H29.1.2	石川	H29.3.3	履行	
特記事項											
不履行の処理	再施工の有無 有 ・ 無(再施工が合理的でない場合)								減点	点	

注 1) 総合評価方式における技術提案事項については、履行のための施工方法とその確認方法を施工計画書に記載すること。

2) 技術提案事項の履行確認は、監督員との協議により立会または写真などの書類によるものとし、その記録は説明資料として提出すること。

3) 本紙は、当初施工計画書に合わせて、監督員に提出すること。

4) 「判定」、「受注者と監督員との協議日」、「監督員と工事管理担当職員等との協議日」、「履行の確認者」、「履行の確認日」「履行確認」、「特記事項」、「不履行の処理」、「減点」については、受注者での記入は不要。

5) 確認方法については、受注者と監督員、監督員と工事管理担当職員等で協議し、決定すること。

6) 本紙提出後に、記載事項の変更があれば、受注者から監督員へ本紙を更新して提出すること。

7) 受注者の責により入札時の評価内容が満足できない場合は、原則として再施工を行うとともに工事成績評定点を5点減点する。

8) 再施工が合理的で無い場合は、工事成績評定点を5点減点するとともに加算点を再計算して修正の契約額を算出し、差額分を受注者へ課すこととする。

説 明 資 料 (実 施 状 況)

工 事 名		
受 注 者		
項 目		
番 号 (技術提案)	内 容	
詳細な内容		
添付写真、図		

説明資料は、簡潔に作成するものとし、必要に応じて別葉とする。

16 自主施工工事の対象

本工事は、自主施工対象工事であり、自主施工実施要領（試行案）の適用する受注者において自主施工工事を希望する場合は下記の様式により申請を行うこと。

※「自主施工工事实施要領（試行案）」

<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/gijyutsu/index.html>

参考「自主施工工事实施要領（試行案）」より抜粋

適用範囲

特記仕様書に自主施工工事の対象であることが明記された工事で、以下の要件を全て満足し、かつ受注者が希望する工事とする。

（１）提出資料

- ① 申請書[自主施工工事様式－2]
- ② ISO9001の認証取得を示す登録証の写し
- ③ ISO9001の審査に係る次の書類
 - イ. 直近の審査報告書（初回審査、定期審査又は更新審査のいずれかを対象として審査登録機関が発行したものに限る。）の写し
 - ロ. イの審査に係る合格判定結果の写し
- ④ 申請に係る工事を担当する内部組織が、ISO9001認証を取得していることを示す書類
- ⑤ ISO9001認証の範囲が工事の内容に一致していることを示す書類。ただし、②でその内容が確認できる場合は④、⑤は提出しなくてよい。
- ⑥ 内部監査※1チームリーダーが、(財)日本適合性認証協会(JAB)の認定を受けている審査員養成機関が実施する内部品質監査員養成研修又はそれと同等の研修を修了していることを示す修了証の写し
- ⑦ 内部監査チームリーダーが、以下の要件をすべて満足することを証明する経歴証明書の写し[自主施工工事様式－4]
 - イ. 10年以上の現場経験を有する。
 - ロ. 以下の資格の少なくとも1つ以上を有する。
 - (イ) 技術士
 - (ロ) 1級土木施工管理技士
 - (ハ) 1級造園施工管理技士
 - ハ. 内部監査員としての経験を有すること。
- ⑧ 当該工事における監視・測定（検査）の結果を確認して承認する承認者（検査 承認者）が、以下の資格を有していることを証する写し
 - ・ 技術士 ・ 2級又は1級土木施工管理技士 ・ 2級又は1級造園施工管理技士

（２）請負者が県の請負業者有資格者名簿に登録されたもの（以下、「有資格者」という。）のうち指名基準表の等級A及びBに格付けされた有資格者である工事。

（３）自主施工工事の試行対象工事は、土木部出先機関等で発注する単年度工事の中から道路建設、道路整備、河川、砂防、港湾、都市計画、公園緑地、漁港、水道、下水道等の工事とする。ただし、新工法を採用した工事、施工条件が厳しい工事、第三者に対する影響のある工事、低入札価格調査制度対象工事等は、工事の適切・確実な履行を確保する観点から自主施工工事の試行対象とはしない。（石川県土木工事監督要綱の監督技術基準の取扱いについて参照）

18 いしかわ週休2日工事

・週休2日工事(現場閉所)の対象

本工事は、建設現場において週休2日に取り組む「いしかわ週休2日工事」の対象工事である。

週休2日工事(現場閉所)は、原則、工事着手日から工事完了日において、**週単位**の週休2日の現場閉所を確保することとする。**なお、港湾工事においては、月単位の週休2日の現場閉所(4週8休相当)を確保することとする。**

実施にあたっては、いしかわ週休2日工事実施要領及び細則の規定に基づき実施すること。

■週休2日工事(現場閉所)

- (1) 当初設計において**週単位**の週休2日に係る補正係数を乗じている。
港湾工事では、月単位の週休2日(4週8休相当)に係る補正係数を乗じている。
- (2) 災害復旧工事(港湾・営繕・機械設備工事を除く)の受注者は、週休2日工事(交替制)への変更を希望する場合は、現場着手前に、週休2日工事(交替制)変更協議書(様式2)にて監督員と協議すること。
なお、週休2日工事(交替制)の費用計上にあたっては、達成状況を確認の上、達成状況に応じた補正係数に変更するものとする。
- (3) 受注者は、現場に週休2日に取り組むことを記載した工事看板(参考図参照)を設置すること。
- (4) 受注者は、現場着手前に対応する週休2日の休日取得[計画]表を作成し、監督員に提出・共有すること。
- (5) 受注者は、工程に大幅な変更が生じた場合は、対応する休日取得[計画]表を修正し、監督員に提出・共有すること。
- (6) 受注者は、工期最終日までに、対応する休日取得[実績]表を記入し、監督員に提出のうえ確認を受けること。
監督員が休日取得[実績]表により現場閉所の達成状況を確認し、**週単位の週休2日に満たない場合は、月単位の週休2日(4週8休相当)の補正に減額するものとし、月単位の週休2日(4週8休相当)に満たない場合は、補正分を減額変更する。**

■工事看板参考図

(イ) ご協力をお願いします	
(ロ) 〇〇〇〇〇〇を なおしています	
令和 〇年 〇月 〇日まで 時間帯 〇:〇〇 ~ 〇:〇〇	
(ニ) 〇〇〇〇〇工事	
発注者	石川県〇〇〇〇事務所 電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇
施工者	〇〇〇〇建設株式会社 電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇
この工事は、週休2日工事です	
	ようこそ石川県へ! Welcome to Ishikawa! 歓迎光臨石川縣!
	

20 ウィークリースタンス等の推進

本工事は、建設業の働き方改革を推進するため、受発注者協力のもとウィークリースタンス等に取り組むこととする。なお、工事着手前に受発注者間で下記事項について協議のうえ実施し、就業環境の改善に努めること。

<発注者の取組>

- 受注者からの質問や協議に対する回答については、基本的に「その日のうち」に回答すること。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」に行うこと。
- 「月曜日の朝一番」及び「各建設会社のノー残業デー翌日の朝一番」を期限とした作業を指示しないこと。
- 「金曜日の作業依頼」や「昼休み・定時間際・定時後の作業依頼や打合せ」は控えること。

<受注者の取組>

- 工事着手前に工程管理方法について綿密に検討のうえ、作業間の関連や工事の進捗状況等を常に把握すること。
- 工事実施中において問題が発生した場合は、作業内容や工程及び発生原因等を整理のうえ、速やかに監督職員と書面で協議すること。

21 その他

1 イメージアップ看板

イメージアップ看板とは建設業の担い手となる就業者を確保するため、建設業の持つ魅力を発信していくことを目的として設置するものである。

対象工事は、当初設計額1,500万円以上とし、現場環境改善費にて対応する。

なお、当初設計額1,500万円未満の工事については、任意とし、現場環境改善費による設置を妨げない。

【イメージアップ看板参考図】

野立型(大)
H1400×W1100



野立型(小)
H1400×W550

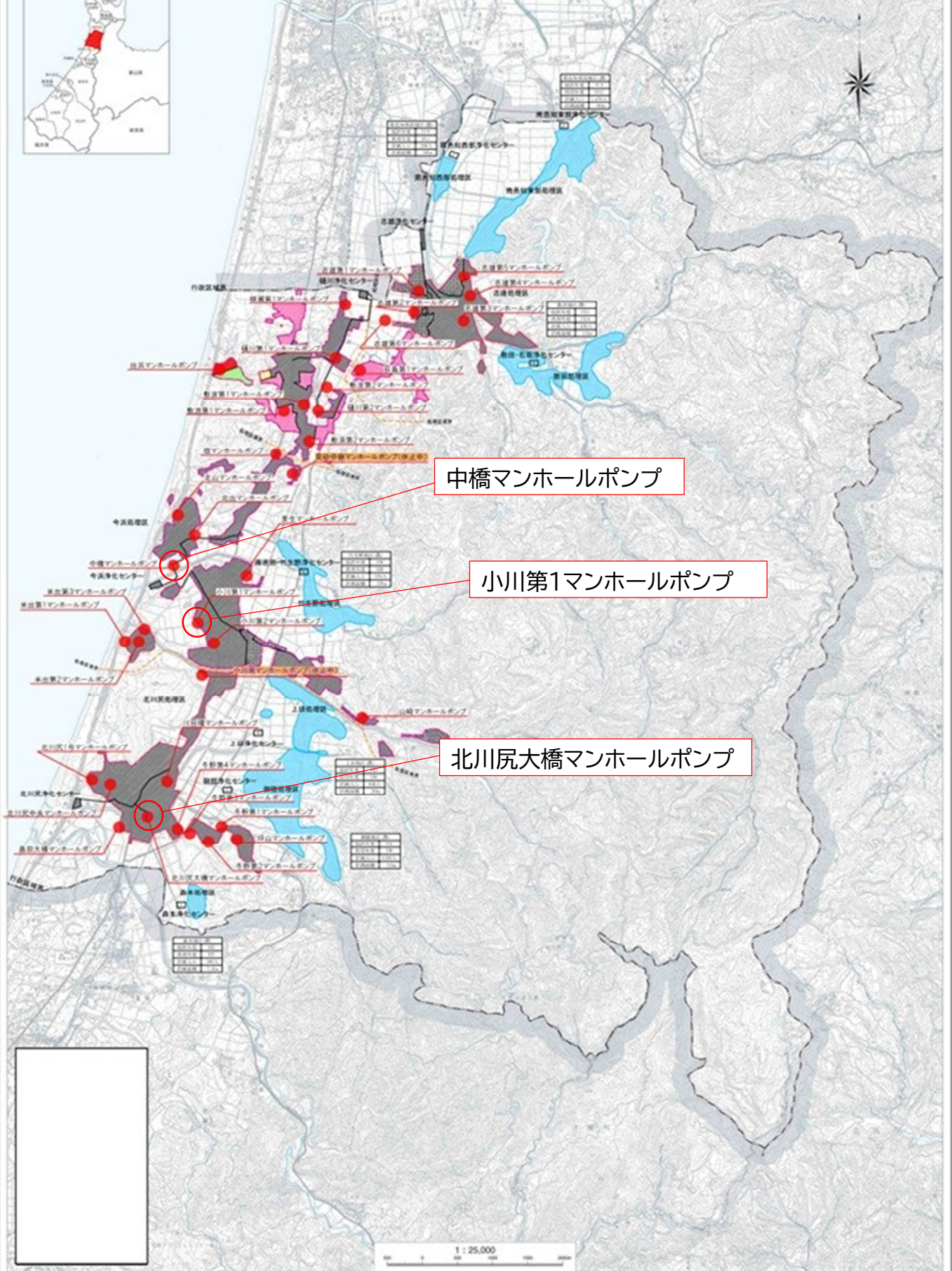


壁掛型
H750×W900





宝達志水町公共下水道施設 中継ポンプ場位置図



中橋マンホールポンプ

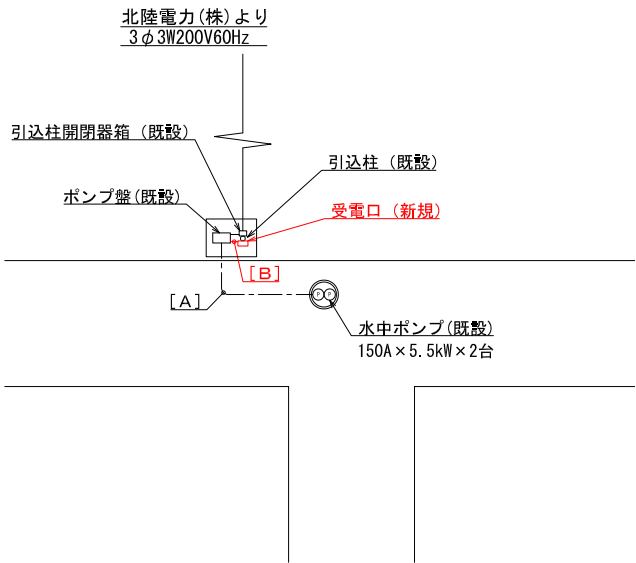
小川第1マンホールポンプ

北川尻大橋マンホールポンプ

中橋汚水中継ポンプ場電気設備図（更新） 図 示

全体配置図（参考図）

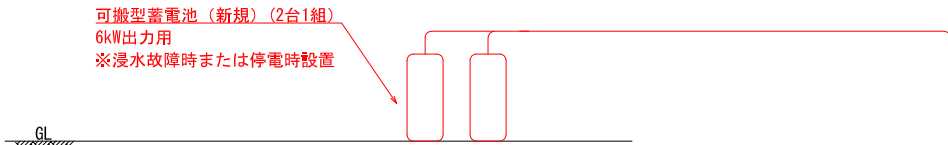
S=1:150



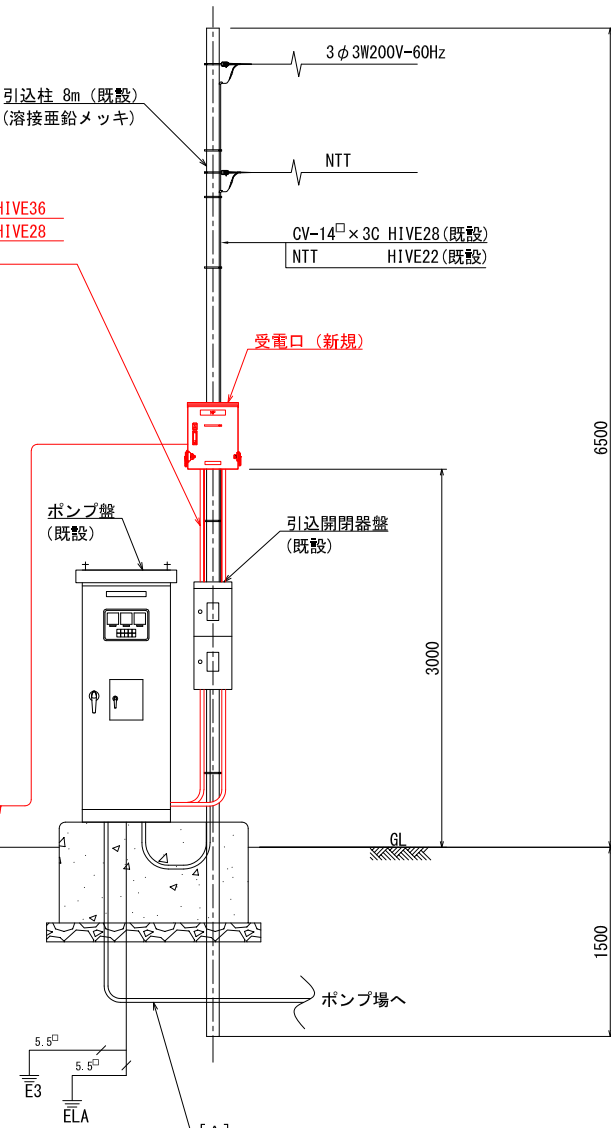
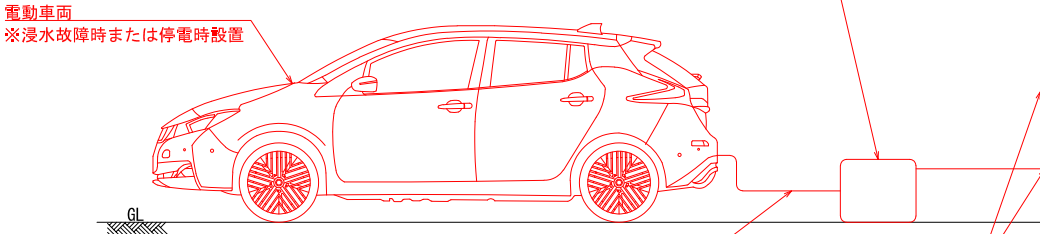
電気配線詳細図

S=1:30

①可搬型蓄電池から給電する場合

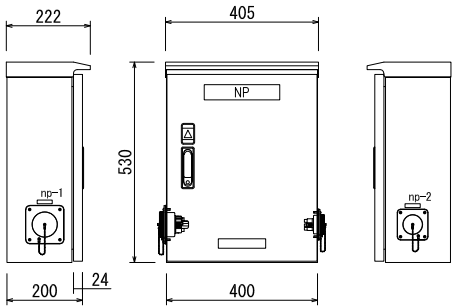


②電動車両から給電する場合



受電口外形図

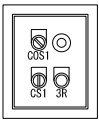
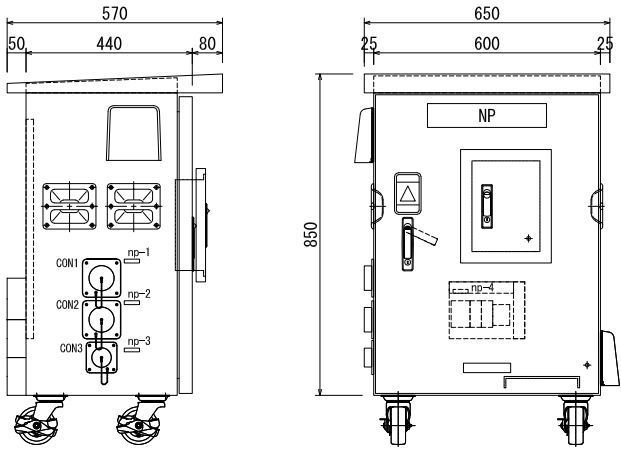
S=1:10



記号	名 称
NP	受電口
np -1	ポンプ
-2	水位計

可搬型制御盤 (5.5kW用) 外形図

S=1:10



小扉正面図

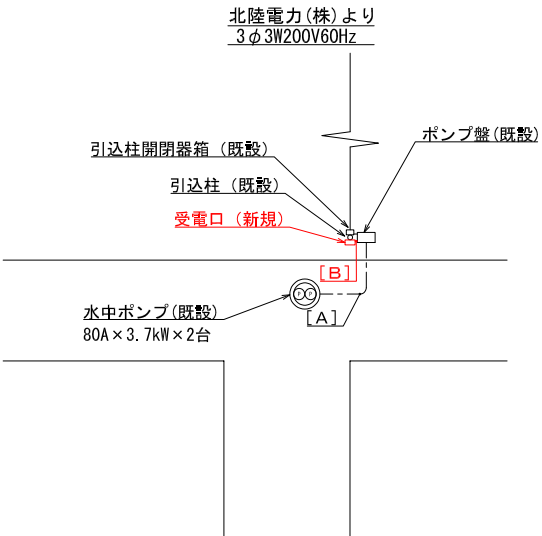
記号	名 称
NP	可搬型制御盤
np -1	蓄電池
-2	ポンプ
-3	水位計
-4	異常高水位タイマー
COS-1	切替スイッチ（自動－手動）
CS -1	操作スイッチ（運転－停止）
3R	リセット

注記

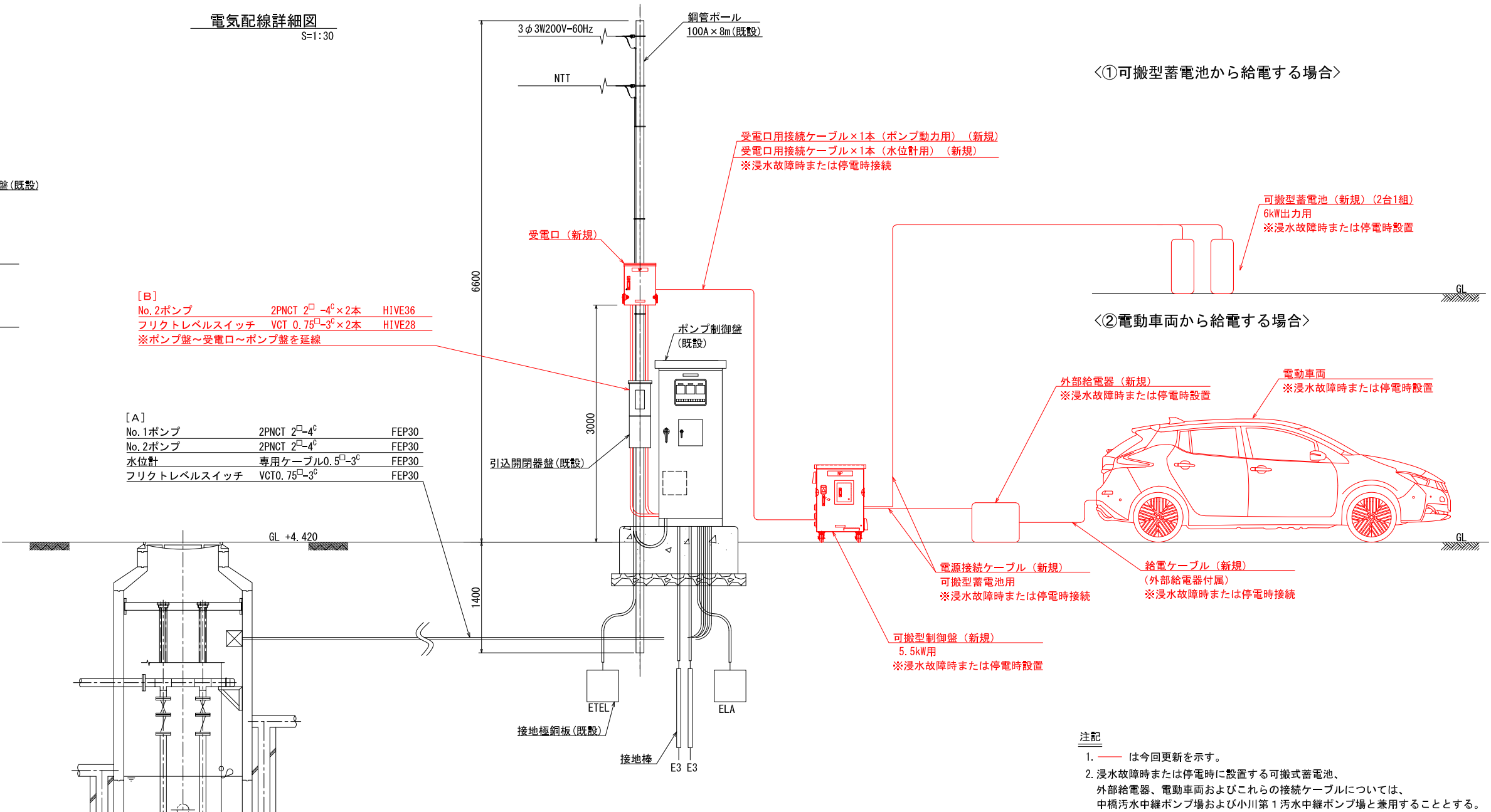
- は今回更新を示す。
- 浸水故障時または停電時に設置する可搬型蓄電池、外部給電器、電動車両およびこれらの接続ケーブルについては、小川第1汚水中継ポンプ場と北川尻大橋汚水中継ポンプ場と兼用することとする。

北川尻大橋汚水中継ポンプ場電気設備図（更新） 図 示

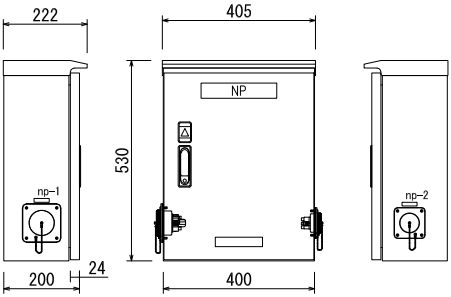
全体配置図（参考図）
S=1:150



電気配線詳細図
S=1:30

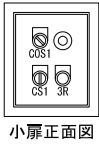
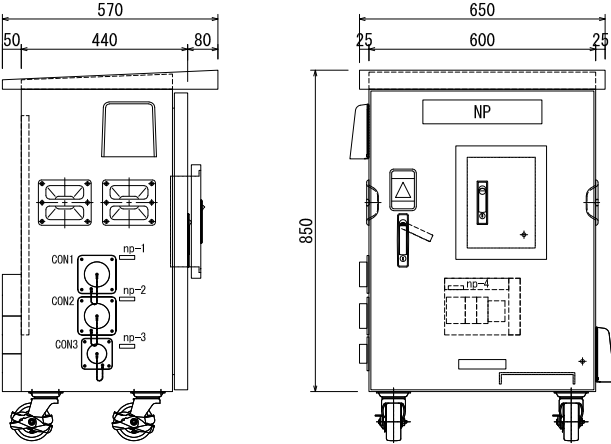


受電口外形図
S=1:10



記号	名 称
NP	可搬型制御盤
np -1	ポンプ
-2	水位計

可搬型制御盤 (5.5kW用) 外形図
S=1:10



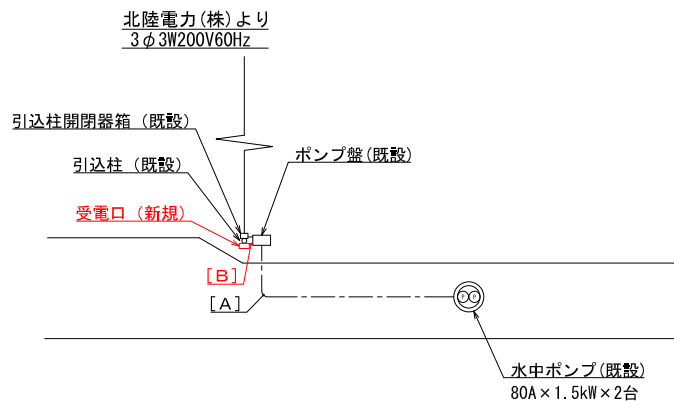
小扉正面図

記号	名 称
NP	可搬型制御盤
np -1	蓄電池
-2	ポンプ
-3	水位計
-4	異常高水位タイマー
COS-1	切替スイッチ (自動-手動)
CS -1	操作スイッチ (運転-停止)
3R	リセット

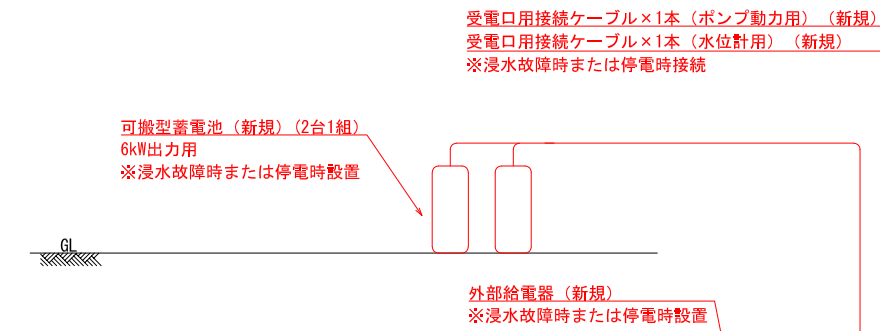
小川第1汚水中継ポンプ場電気設備図（更新） 図示

全体配置図（参考図）

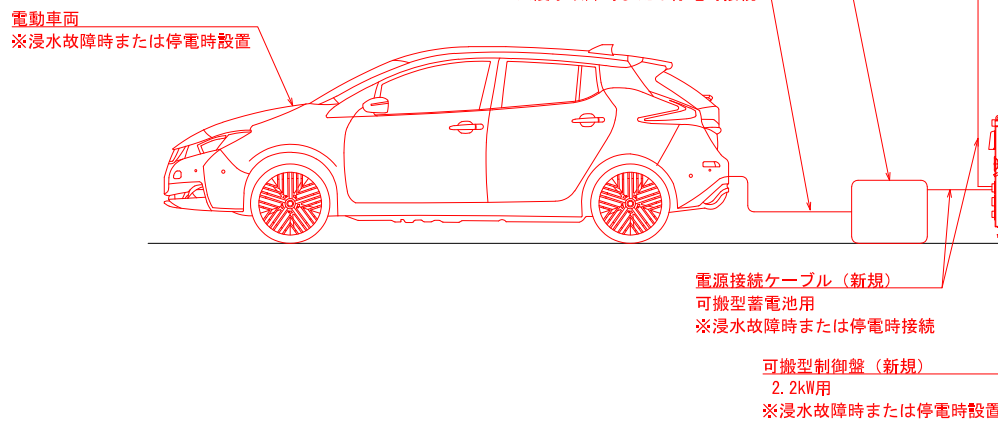
S=1:150



＜①可搬型蓄電池から給電する場合＞

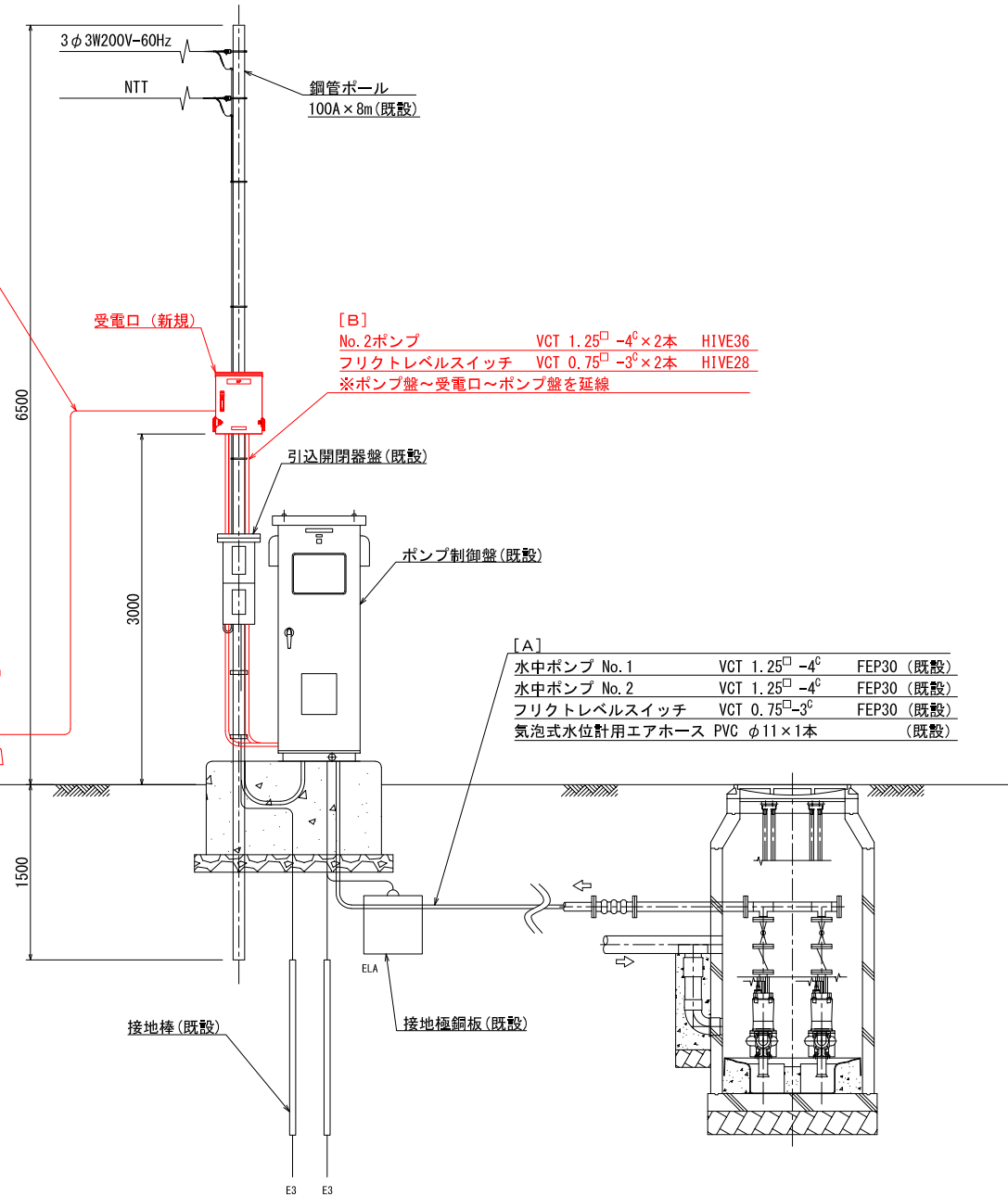


＜②電動車両から給電する場合＞



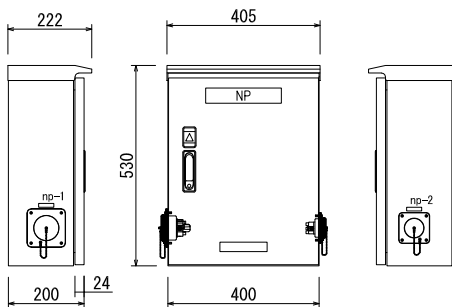
電気配線詳細図

S=1:30



受電口外形図

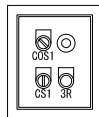
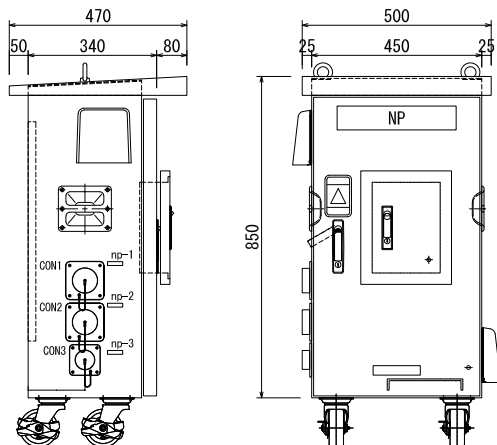
S=1:10



記号	名 称
NP	可搬型制御盤
np -1	ポンプ
-2	水位計

可搬型制御盤(2.2kW用)外形図

S=1:10

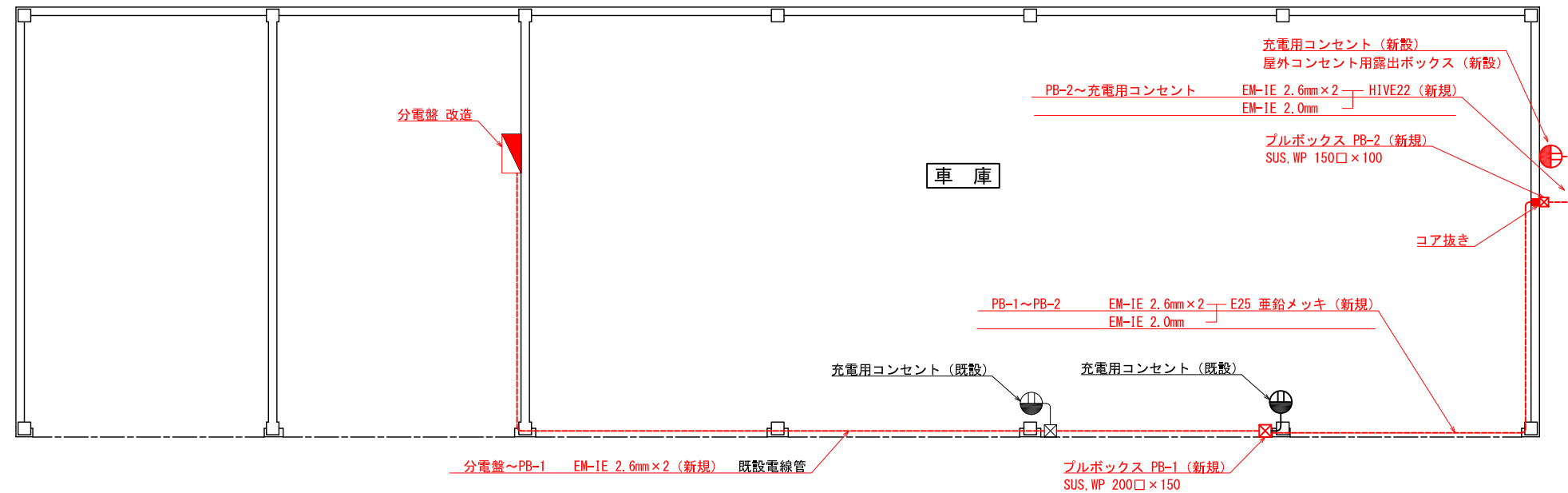


小扉正面図

記号	名 称
NP	可搬型制御盤
np -1	蓄電池
-2	ポンプ
-3	水位計
-4	異常高水位タイマー
COS-1	切替スイッチ(自動-手動)
CS -1	操作スイッチ(運転-停止)
3R	リセット

注記

- は今回更新を示す。
- 浸水故障時または停電時に設置する可搬型蓄電池、外部給電器、電動車両およびこれらの接続ケーブルについては、中橋汚水中継ポンプ場および北川尻大橋汚水中継ポンプ場と兼用することとする。



宝達志水町役場

注記

1. 今回更新を示す。
2. 特記なき配線は下記とする。

(凡 例)

露出配線
埋設配線